

弘前の文化財マップ

弘前城

平成27年に天守を曳家し、翌年から石垣の解体に着手した。この大規模な石垣修理は約100年ぶりの歴史的な工事となる。

石垣工事のスケジュール

令和2~4年度 北側・南側
令和4~6年度 南側
令和7年度 天守曳戻

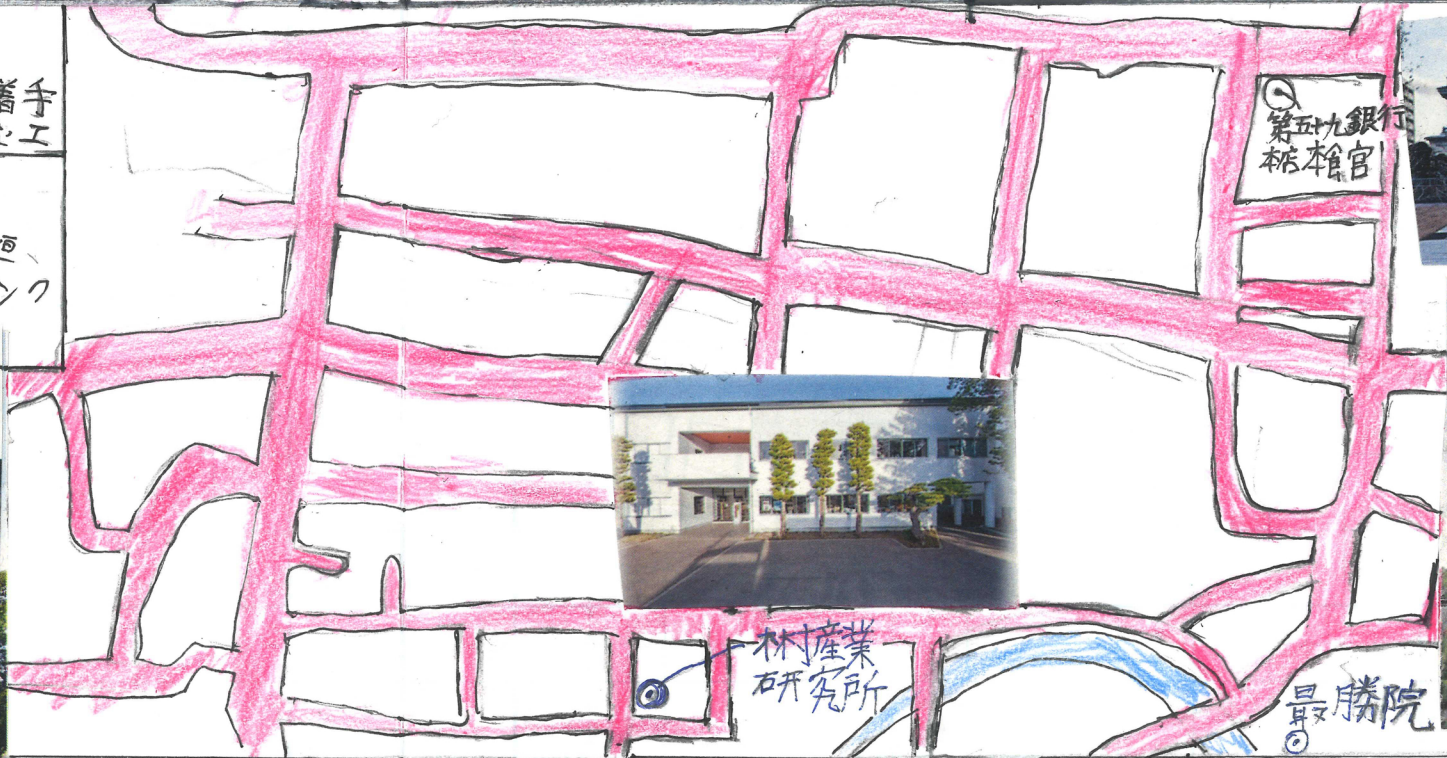
追手門、南門の保存修理も行う。60年ぶりの大規模修理となるそうである。



新たな発見

江戸時代につくられた埋込石垣、内壕石垣、井戸跡の他、帯コンクリートなどが発見された。

長勝寺



長勝寺

1528年に南朝光信のお寺として種里(現在の鱒ヶ沢町)に建立された。その後、光信の子孫の津軽信玄の時代の1611年に弘前城築城にあわせて現在地に移った。長勝寺は、敵が攻めてきたときの逃げ場や、弘前城を守る、などの役割を持っていた。このことから、権力は、今の総理大臣以上たてられた。

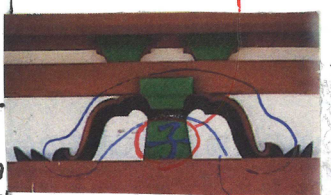
御影堂

津軽為信の木像を置くために1628年に建築されたといわれている。この像は京都の津軽為信の姿をそっくりそのままつくったそうである。



最勝院五重塔

1667年~1668年に建てられた。高さは31.2mと、ている。各階の外観が、ちが、ていて、5階の幅が1階の幅の半分程度となっている。1階のかえるまたに十二支が書かれている。(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)



最勝院五重塔は東北で最も美しい五重塔だと言われている。

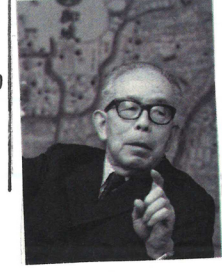
戦死した敵味方の供養のために建立したといわれている。

かえるまた

木村産業石研究所

昭和7年(1932)に完成した建物。日本で、最も早い時期のモダンな建築。前川國男がはじめて設計した建物で、今年の8月2日に、前川國男の建物としてはじめて重要文化財となった。今はこざんごしの研究をしている。

世界的な建築家のル・コルビュジエのモットーで学んだ前川國男が日本で最初に手掛けた作品である。



→ 前川國男さん

第五十九銀行本店本館

第五十九銀行本店の建物は明治37年(1903)に完成した。建物は石づくりではなく、木でつくられている。

左右対称で美しい見た目が、か下の中じがわりをふりこめたり、土戸を使用する防火構造。天井の金唐草紙や、けがきカーテンなど、いまでは手に入らない高価な材料をたくさん使用しているのが、かな建物だ。

堀江佐吉さん ←

